



# 大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：石田 英世 幹事：高野 祐二
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2025年1月29日(水)  
第26巻 第27号

通巻第1101号

<http://www.oamirotary.com>  
E-mail: [rc@oamirotary.com](mailto:rc@oamirotary.com)



## 本日の例会

点 鐘 会長 石田 英世  
ソング 我等の生業  
会長挨拶 会長 石田 英世  
幹事報告 幹事 高野 祐二  
プログラム

### 卓話

昔話を語り継ぐ会 安川 貞子 様  
長谷川ぬい作 九十九里浜の智恵子抄碑  
小倉ふじ江様 紙芝居

## ニコニコBOX

石田 英世 会長  
誕生日ありがとうございます。  
年を取ったせいか忘れていました。

山岸 健一 会員  
誕生日祝いありがとうございました。

例会日	1月22日	1月8日
会員数	29	29
出席	17	18
欠席	12	11
M U	0	0
免除	5	5
出席率	76%	79%

## 会長挨拶

石田 英世 会長



1月20日ドナルド・トランプ氏の米国大統領就任式が行われました。会場には米 Google のスンダー・ピチャイ CEO や米 Apple のティム・クック CEO、米 Meta のマーク・ザッカーバーグ CEO、米 Amazon.com 創業者のジェフ・ベゾス氏も参列し、いわゆる“GAFA”のトップが勢ぞろいしていました。

Google、Amazon.com、Meta の3社に加え、米 Microsoft や Apple のティム・クック氏、米 OpenAI のサム・アルトマン CEO はトランプ氏に100万ドル規模の寄付を行ったと、

米主要メディアが報じています。

今まではどちらかというところ反対側にいたと思われていた方々の対応に驚いています。

また、米国では近年、官民ともに「DEI」（多様性・公平性・包摂性）を推進する施策が広まってきた。だがトランプ氏は就任初日から2日連続でこれらに対する大統領令を出し、連邦政府における人事採用や評価において、DEI を考慮することを禁止するよう命じたということです。

米国では多くの企業が次々と多様性目標の終了や縮小を表明しています。日本でもなじみ深い外食大手のマクドナルドも DEI から後退した企業の1つです。

ご存じのようにRIではDEIを推進していて、当クラブでもその方向で進んでいます。米国の方針転回にどう対処するか気になります。

その昔、「米国がくしゃみをするとうるまが風邪をひく」と言われましたが、みなさまには風邪などひかぬようご自愛ください。

地区 米山記念奨学委員会 加藤 隆 様 （千葉東 RC）



皆さんこんにちは

2790地区米山記念奨学委員会の千葉東ロータリークラブ所属の加藤と申します。

本日は米山奨学生キムヒョンウさんをお招き頂きましてありがとうございます。

貴クラブの皆様には日ごろより米山記念奨学事業に対する温かいご理解とご支援を頂き、感謝申し上げます。

初めに米山記念奨学会の活動についてお話をさせていただきます。米山記念奨学会の主な目的は「奨学生の育成」と「寄付の増進」です。ロータリー米山記念奨学会は131の国と地域に累計23,500名以上が卒業し年間事業費は14億円以上にも上る、国内民間最大規模の国際奨学事業です。「ロータリー運動の良き理解者となる」人材を育成するという事業の使命への期待は年々高まり「母国と日本を結ぶ懸け橋」となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、「平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという戦

## 米山学友 段 海玲さんとの再会

皆さん、お久しぶりです。  
2015年-2017年お世話になった元奨学生の段海玲です。今まで川崎で働いていましたが、今月中に大分へ引っ越しすることになり、出発の2日前ご挨拶に参りました。ロータリアンを通じて熊本大分地区の元会長ロータリアンにも繋がりましたので、これから大分で米山学友として頑張りたいと思います。今までありがとうございました。



## 上期会計報告 綿貫一男会計



## 2024-2025 地区大会開催

2025年2月8日(土) 大会1日目  
石田会長、高野幹事出席  
会場：TKP 東京ベイ 幕張ホール  
登録開始：13:30 開会点鐘 14:00  
※地区大会信任状証明書(原本)を受付にてご提出下さい。

2025年2月9日(日) 大会2日目  
会場：TKP 東京ベイ 幕張ホール  
登録開始：9:00 開会：10:00

出席者(敬称略)：石田、高野、大越  
齊藤(敏)、山岸、星野、清宮(建)  
齊藤(幸)、坂本、泉、佐藤、関谷、高山  
吉原、小高、長谷川 16名

### ◆ 地区大会バス運行表 ◆

7:30 高山邸前 高山会員  
7:35 鈴木クリニック前 長谷川会員  
7:40 泉建材前 泉会員、坂本会員、関谷会員  
(県道経由)  
7:50 齊藤建材前 山岸会員、齊藤(幸)会員  
7:55 齊藤設備前 石田会員  
8:00 ABC前 佐藤会員  
8:10 アリーナ前 星野会員、小高会員  
8:20 大網新道ファミリーマート 齊藤(敏)会員  
8:30 みずほ台 高野会員、清宮(建)会員  
8:40 農村婦人の家 吉原会員  
9:30 東京ベイ幕張ホール  
10:00 入場セレモニー

16:35 終了予定

後のロータリアンたちの強い願いがありました。

因みに、優秀とは学業に対する熱意や優秀性はもちろんのことですが、異文化理解、コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点も含まれます。そしてロータリー米山奨学生はロータリークラブを通じての日本の文化、習慣などに触れて社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待できます。

また、米山記念奨学金の制度は経済的な支援だけではなく「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて世話クラブの例会に月一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流し国際交流・相互理解を深めると共にロータリーの奉仕の精神を学びます。

以上のことから米山奨学金制度の役割は今後更に社会的な重要度、必要性が高まっていくと考えています。

次に寄付金についてお話をさせていただきます。

米山奨学会への寄付金は2種類ございます。

一つ目は普通寄付金です。こちらは日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付です。半期に1度、会員数分を頂戴します。

2つ目は特別寄付金です、個人、法人、またはクラブから、任意でいただく寄付金です。またロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けしております。ちなみに金額の下限・上限はありません。クラブ事務局からご申請いただければ、税制上の優遇措置を受けることもできます。

このロータリー奨学制度を続けるためにも普通寄付金と共に、ガバナーが掲げております特別寄付金として目標を一人15,000円としております。

以上、できる限りの皆様のご協力ご支援を頂戴したくお願いを申し上げます。寄付が増えることイコール、国際平和の創造と維持に貢献する人、その奨学生の数を増やすことに直結します。

ロータリーの究極の目標である「世界平和の実現」のための歩みを、どうか一緒に、共に、行っていきましょう!

## 卓 話

## 米山奨学生 金 炫佑 (キムヒョンウ) 様

千葉大学工学部デザインコースに在籍する金炫佑です。

このポートフォリオは、モビリティデザインと交通システムに対する深い情熱と専門性を示す作品集です。

2020年に入学以来、鉄道写真から始まり、公共交通機関のサービスデザイン、未来のモビリティまで、幅広い分野でのプロジェクトを手がけてきました。

主なプロジェクトとして、羽田空港での「荷まかせくん」サービスが挙げられます。これは、空港内での手荷物移動の煩わしさを解決するための革新的なロッカーシステムです。ユーザー体験を重視したUIデザイン、ブランディング、システム設計まで、総合的なデザインソリューションを提案しています。

また、トヨタと協力して開発した「Phoenix」は、極地での調査活動をサポートする未来のモビリティコンセプトです。絶滅危惧種の保護活動に貢献することを目指し、氷上や水中での移動を可能にする革新的な設計を特徴としています。

さらに、F-0 レーサープロジェクトでは、BMI インターフェースを活用した新しいモータースポーツの形を提案。障害を持つレーサーでも脳波でマシンを操作できる画期的なシステムを設計しています。

鉄道への深い愛着も特筆すべき点で、2012年から続けている鉄道写真は、韓国 KORAIL での写真展示にも採用されました。また、在日韓国人留学生向けのガイドブックの制作や、都営地下鉄の路線図リデザインなど、公共交通機関の利便性向上にも取り組んでいます。

作品全体を通じて、確かな技術力と共に、人々の生活をより良くしたいという強い思いが感じられます。写真技術、UI デザイン、工業デザイン、ブランディングなど、多岐にわたるスキルを持ち合わせており、それらを効果的に組み合わせることで問題解決にあたる能力の高さが際立っています。

特に、技術的な実現可能性と人間中心のデザインの両立を重視する姿勢は、現代のモビリティデザインに求められる重要な要素を十分に理解していることを示しています。

ありがとうございます。

